

① 以下の文章を読みながら「さ・し・す・せ・そ」に○（まる）をつけてください。

にんちしょうしさくすいしんかんけいかくりょうかいぎにおいて、「にんちしょうしさくすいしんたいこう」をれいわがんねんろくがつじゅうはちにちにとりまとめました。

にんちしょうになってもすみなれたちいきでじぶんらしくくらしつづけられる「きょうせい」をめざし、「にんちしょうばりあふりー」のとりくみをすすめていくとともに、「きょうせい」のきばんのもと、かよいのぼのかくだいなど「よぼう」のとりくみをせいふいちがんとってすすめていきます。「きょうせい」とは、にんちしょうのひとが、そんげんときぼうをもってにんちしょうとともにいきる、また、にんちしょうがあってもなくてもおなじしゃかいでともにいきる、といういみです。

「よぼう」とは、「にんちしょうになるのをおくらせる」「にんちしょうになってもしんこうをゆるやかにする」といういみです。

② 各仮名の個数を数えて、数を書いてください。

さ	し	す	せ	そ
<input type="text"/>				

③ 何について書かれた文章でしたか？口頭で教えてください。

折り線

【文章】仮名拾い（かなひろい）課題プリント その1 - さ行編

答え ② さ：2 し：19 す：11 せ：5 そ：1

③ 認知症（の政策）について書かれた文章。など

文章の出典：

厚生労働省

「認知症施策推進大綱について」

2022年6月時点

を平仮名に加工して作成 ©リハプリント